

人間環境大学とのタウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：学生の視点で松山市を考える』 令和7年7月16日（水）16：30～

☆	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	自転車走行用の道路の路面につけている点線や破線（矢羽根型路面表示）の上を自転車で走ると、ガタゴトして走りにくい。点線をなくしたり、ひとつの色で塗ったりしてほしい。	☒ 可能 ☐ 対応済 ☒ 今年度中 ☐ 次年度以降 ☐ 検討中 ☐ 不可能 ☐ その他	路面標示は、色や形状を工夫して注意を促し、情報を伝えやすくしています。 また、国のガイドラインで、サイズ、色、デザインなどが決められています。塗料の厚さは、塗り直し作業に伴う通行止めなどの回数を減らすため、安全性と耐久性をよく検討して、愛媛県や県内の市町では1.5mmにしています。 なお、今回ご意見をいただき、矢羽根型路面標示のある市道を点検したところ、剥がれて見えにくい場所が2カ所ありました。今年（令和7年）10月までに、補修を行います。 今後も定期的に路面状態を確認し、安全で利用しやすい道路の維持管理に努めます。	都市整備部 道路河川管理課 道路担当 089-948-6478
2	松山市の人口減少対策、「まつやま未来コネクト」など具体的な取組みを教えてください。	☐ 可能 ☐ 対応済 ☐ 今年度中 ☐ 次年度以降 ☐ 検討中 ☐ 不可能 ☒ その他	松山市では、今後10年間のまちづくりの方向性を示す「第7次松山市総合計画」で、人口減少対策を最重要事項にしています。 高校生までの医療費無料化など子育て支援や移住定住を進めて人口減少のスピードを抑えるほか、デジタル技術を積極的に普及させ、人手不足の解消につなげていきます。 また、今年（令和7年）5月から産学官が連携して人口減少対策を検討する「まつやま未来コネクト」を立ち上げ、現在、デジタル技術の活用などで地域課題の解決に向け取り組んでいます。 今後もさまざまな取組みを通して、市民サービスを維持し、市民の皆さんの満足度や利便性を高めていきます。	総合政策部 企画戦略課 政策経営・地方創生担当 SDGs 産学官連携担当 089-948-6213・6943

3	松山市の魅力は、自分で調べないとたどり着かないので、何か対策を教えてほしい。	■可 能 ☒ 対応済 ☐ 今年度中 ☐ 次年度以降 ☐ 検討中 ☐ 不可能 ☐ その他	松山市では、今年(令和7年)4月から20代女性の視点で松山の魅力を紹介するInstagram「マツヤマデイズ」を始めたほか、ホームページでは、住みやすさを紹介する「いい、暮らし。まつやま。」や映画やアニメの舞台になったスポットを紹介する「松山聖地巡り」など、さまざまな松山の魅力を発信しています。 また、市の公式LINEに登録すれば、旬のイベント情報などが届くほか、防災や救急、ごみ分別などの情報が取りやすいだけでなく、道路などの危険個所の通報も簡単にできます。 【松山市LINE公式アカウント】 	総合政策部 シティプロモーション推進課 広報・魅力発信担当 089-948-6877・6705
4	カラスが網をかけているごみ袋を取り出し、ごみが道路に散らばっているのを、防止策をとってほしい。	■可 能 ☒ 対応済 ☐ 今年度中 ☐ 次年度以降 ☐ 検討中 ☐ 不可能 ☐ その他	ごみ集積場所は、各町内会の皆さんが場所を決め、日々の清掃をしたり、散乱防止の対応をしたりするなど、清潔に管理していただいています。 松山市は、カラスの被害を受けないよう、生ごみが見えない出し方やネットで覆うなどの啓発を行うほか、カラスを近寄らせないグッズを無料で貸出しています。 今回、ご意見をいただいたごみ集積場所を確認し、管理する方に改善のお願いとカラス対策の方法やグッズ貸し出しなどを説明しました。	環境部 環境・ゼロカーボンシティ推進課 環境活動推進担当 089-968-7153

5	特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の対策や入ってきた後の駆除の方法などを教えてほしい。	☐ 可 能 ☐ 対応済 ☐ 今年度中 ☐ 次年度以降 ☐ 検討中 ☐ 不可能 ☒ その他	「ナガエツルノゲイトウ」は、刈り取った茎の断片が残れば増え続ける植物で、国が特定外来生物に指定し、愛媛県が防除計画を作っています。 松山市では、水路や農地を管理する皆さんに注意を呼び掛けています。今年(令和7年)7月末現在、市内での確認報告はありません。 確認された場合は、根や茎が残らないよう引き抜いたり、袋に密閉して焼却したりするなど、管理する皆さんと協力して広がらない対策を行うほか、対策後の現地確認や効果を検証するなど、徹底した防除に努めることにしています。	環境部 環境指導課 大気・水質担当 089-948-6441
6	松山市の犯罪発生件数や「松山市再犯防止推進計画」にある国・県・民間と連携した支援の活動を教えてほしい。	☐ 可 能 ☐ 対応済 ☐ 今年度中 ☐ 次年度以降 ☐ 検討中 ☐ 不可能 ☒ その他	松山市の令和6年の刑法犯罪発生件数は3,599件で、再犯率は約48%です。 近年、刑務所は、受刑者に罰を与えるだけでなく、社会に復帰する支援に力を入れ、再犯を減らす取組を進めています。 現在、策定中の「第二次松山市再犯防止推進計画」では、再犯に繋がりやすいと言われる無職の方、高齢者、障がいのある方に、仕事や住まい、保健医療などを提供できるよう、国や県、地域包括支援センターなどと、さらに連携が深まる体制づくりを考えています。	市民部 市民生活課 更生保護担当 089-948-6814

7	市民全体でごみ分別に協力していく上で、若者に分別の必要性やリサイクル状況を説明して、考え方や行動を変えてもらうことが大切だと思う。そのような周知を検討してほしい。	■可 能 ☒ 対応済 ☐ 今年度中 ☐ 次年度以降 ☐ 検討中 ☐ 不可能 ☐ その他	松山市では、次世代を担う子どもや若者への環境教育に力を入れています。 市内すべての小学4年生にごみ分別やリサイクルなどを分かりやすく紹介した「環境学習帳」を配ったり、希望する小学校・中学校・高校・大学で「ごみ学習会」を開催したりしています。 また、ごみ減量やリサイクルなどの情報を発信する拠点「まつやまRe・再来館（愛称「りっくる」）」（空港通1丁目）を運営しています。見学に来た子どもは、職員から直接、分別の大切さなどを聞けるほか、使い終わった牛乳パックを溶かしてハガキにリサイクルする体験もできます。 今後も、若い世代から切れ目のない啓発を行い、市民全体でごみ分別に取り組むまちづくりを進めます。	環境部 清掃課 減量・リサイクル担当 089-921-5516 環境・ゼロカーボンシティ推進課 環境活動推進担当 089-968-7153
8	松山市として、災害に対する対応やシミュレーションは万全ですか。また、海に囲まれた四国は、なかなか物資が届かないと思います。	■可 能 ☒ 対応済 ☐ 今年度中 ☐ 次年度以降 ☐ 検討中 ☐ 不可能 ☐ その他	松山市は、国や県、民間の専門機関と協力して、災害対応の計画などを作り、市民の皆さんと繰り返し防災訓練を行っています。 災害用物資は、市内5カ所の倉庫や各地区の公民館、小学校などに食料や飲料水、衛生用品などを備蓄しています。また、民間企業など35社と協定を結び、被災された方に、いち早くお届けできる体制を整えています。 海に囲まれた地理条件でも、航空機などを使って物資は届きますが、大きな災害の場合、到着は早くても発生から3日後と言われています。 皆さんは、「少なくとも3日分、できれば1週間程度」の家庭内備蓄をお願いします。	防災危機管理部 危機管理課 危機管理担当 089-948-6794

9	空き家対策の制度を取り入れて、どのような成果が出ていますか。また、今後、もっと積極的に行う対策はありますか。	■可 能 ■対応済 □今年度中 □次年度以降 □検討中 □不可能 □その他	松山市では、インターネット上で空き家情報が検索でき、貸したい人と借りたい人をマッチングする空き家バンクを運用し、住居だけでなく飲食店やアトリエにも使われるなど、地域の活性化を進めています。 また、倒壊のおそれがある危険な空き家の解体費用の一部を支援し、今年(令和7年)3月末現在、269棟の解体につなげました。 これからも、空き家の現状やニーズを把握し、住宅資源の利活用や市民の皆さんの安全安心が高まるよう取り組みます。 【松山市が運用する空き家バンクマッチング件数(令和7年6月末)】 ●「全国版空き家・空き地バンク」21件 ●「町家バンク(三津浜地区)」128件 ●「離島の空き家(島しょ部)」173件	開発建築部 住宅課 空き家対策担当 089-948-6934 住宅セーフティネット推進担当 089-948-6349 坂の上の雲まちづくり部 まちづくり推進課 三津浜担当 089-948-6942 島しょ部担当 089-948-6816
10	小学校・中学校で開催する救命救急講習会の目的と頻度を教えてほしい。また、子ども向けの講習会の進め方や予定も教えてほしい。	□可 能 □対応済 □今年度中 □次年度以降 □検討中 □不可能 ■その他	松山市立の小学校・中学校は、大切な家族や友達の命を守る知識を得てもらうため、小学5年生と中学2年生の体育の授業で救命救急を学んでいます。 また、消防局では、小学4年生から中学3年生が応急手当などを学ぶ「命の教育」を希望する学校で行っています。令和6年度は小学校24校、中学校12校で実施しました。 ほかにも、中学生以上を対象に、より深く学べる講習会を年間100回以上開催し、積極的に参加してもらっています。 これからも、学校の内外で、救命救急を学べる機会を増やし、万が一の時に適切な行動ができる人を育てていきます。	教育委員会 保健体育課 学校体育担当 089-948-6594 消防局 地域消防推進課 市民防火担当 089-926-9245 救急課 救急管理担当 089-926-9227

11	城山公園で開催するイベントの参加人数が減っていると思います。松山市では、人を集める方法や情報発信をどのように考えているか、教えてほしい。	■可 能 ☒ 対応済 ☐ 今年度中 ☐ 次年度以降 ☐ 検討中 ☐ 不可能 ☐ その他	城山公園は行政のほか、さまざまな民間団体がイベントを開催し、にぎわいづくりや交流を深める場所として利用いただいています。 民間のイベントは、主催者が告知や当日の運営を行い、松山市から、公園の使用許可を得て開催しています。 松山市では、毎年１１月に「えひめ・まつやま産業まつり」を、愛媛県や実行委員会と共同で主催し、市の内外から大勢の方にお越しいただいています。 開催にあたり、若い世代の利用が多いInstagramやフェイスブックなどSNSのほか、テレビ、ラジオ、広報紙、チラシなどさまざまな広告媒体を使って、幅広い世代に情報発信しました。 その結果、令和６年度の２日間の来場者数は、過去最高の１３万７千人になりました。	開発建築部 公園管理課 公園利用担当 089-948-6094 産業経済部 ふるさと納税・経営支援課 ふるさと納税担当 089-948-6265
12	銀天街を含む、商業を中心とした松山市の地域活性化策を教えてください。	■可 能 ☒ 対応済 ☐ 今年度中 ☒ 次年度以降 ☐ 検討中 ☐ 不可能 ☐ その他	松山市では、商店街に人を呼び込むイベント費用（事業費の３分の２、最大１００万円）を支援し、中心部と郊外のお店を回ってもらうスタンプラリーや年末年始の抽選会などに使っていただきました。空き店舗で新しくお店を始める方には、家賃や改装費用（事業費の２分の１、最大１２０万円）を支援し、特に中心市街地の商店街（銀天街・大街道など）では、上限を最大２２０万円に拡大しました。その結果、令和６年度は、銀天街周辺に１１店、大街道周辺に１０店がオープンしました。 また、銀天街Ｌ字地区や国際ホテル跡地（一番町・歩行町）の周辺では、民間の皆さんが再開発を検討する準備組合を作っていて、松山市は、事業が進むよう全力でサポートしています。 今後も、商業を営む方を支援し、まち全体のにぎわいづくりに取り組みます。	産業経済部 企業立地・産業創出課 商業振興担当 089-948-6710 開発建築部 市街地整備課 中活・市街地整備・ 景観担当 089-948-6466